

経営比較分析表（令和4年度決算）

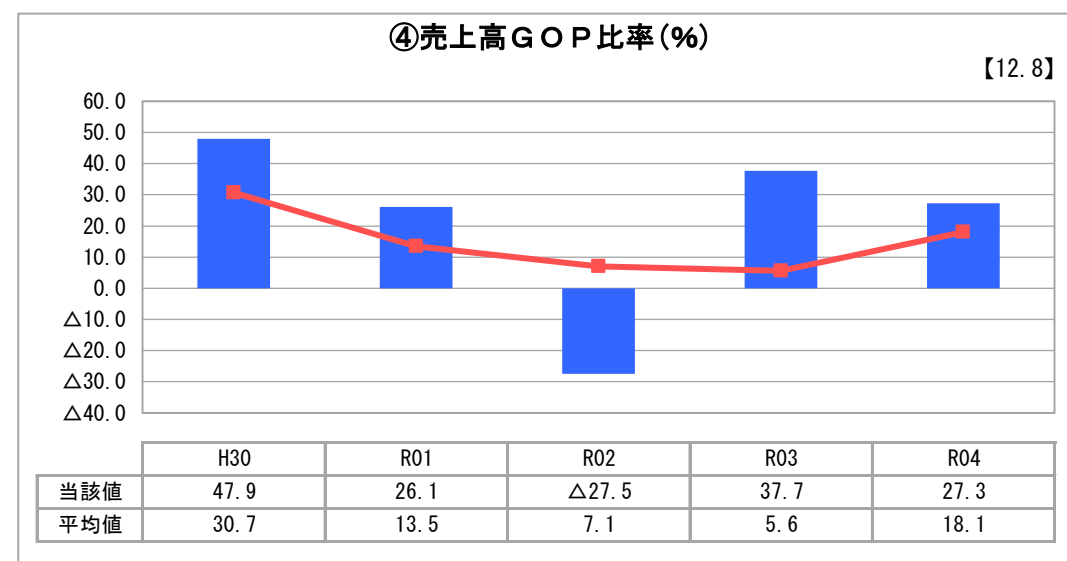
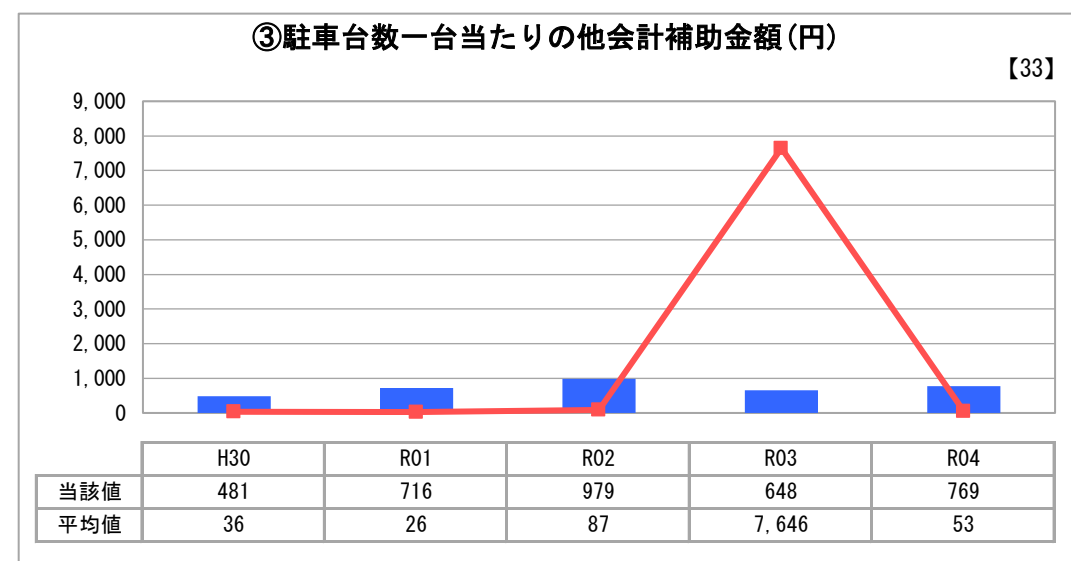
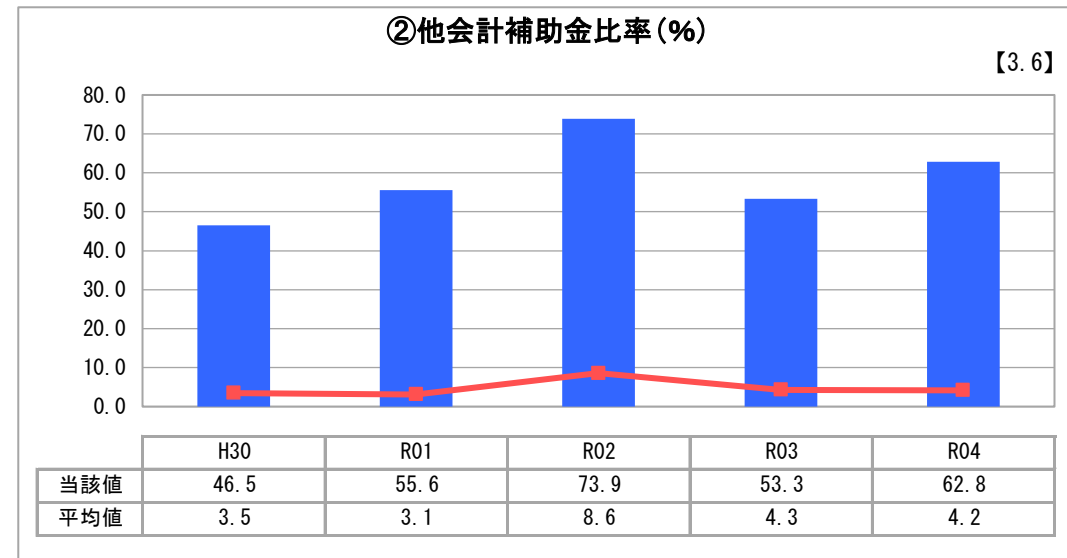
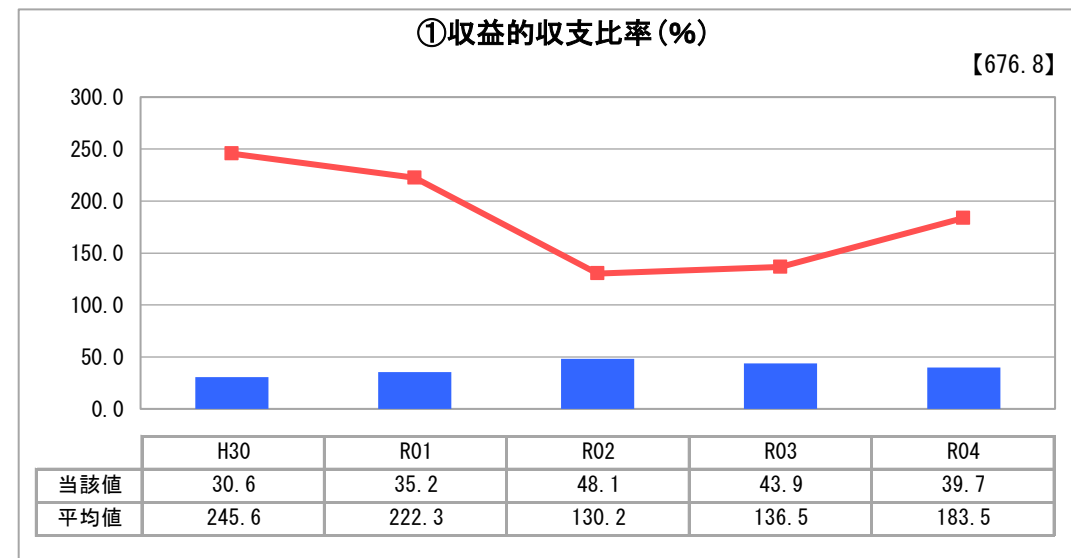
神奈川県相模原市 相模大野駅西側自動車駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A1B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	立体式	10	

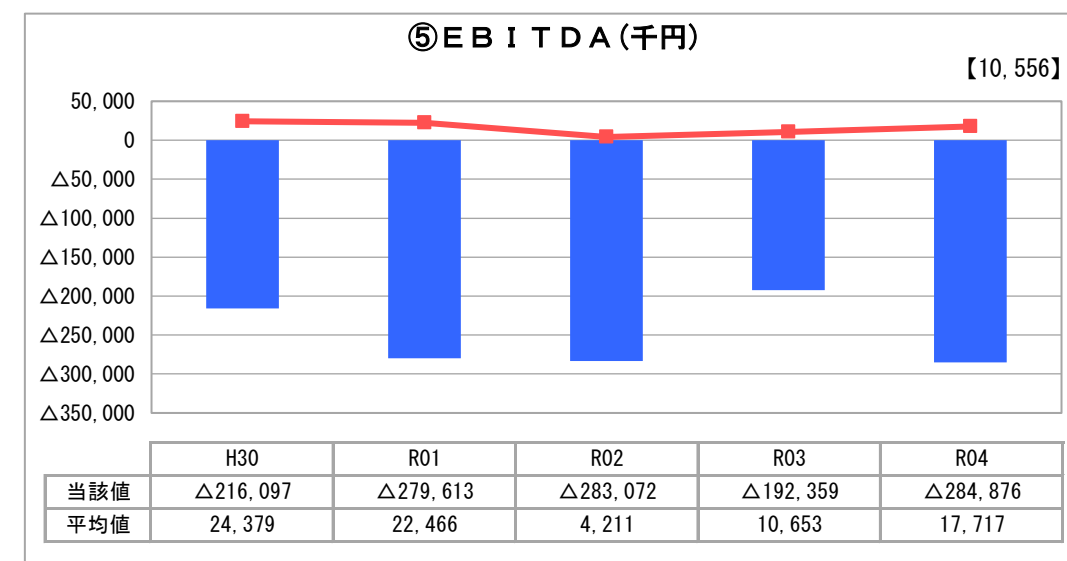
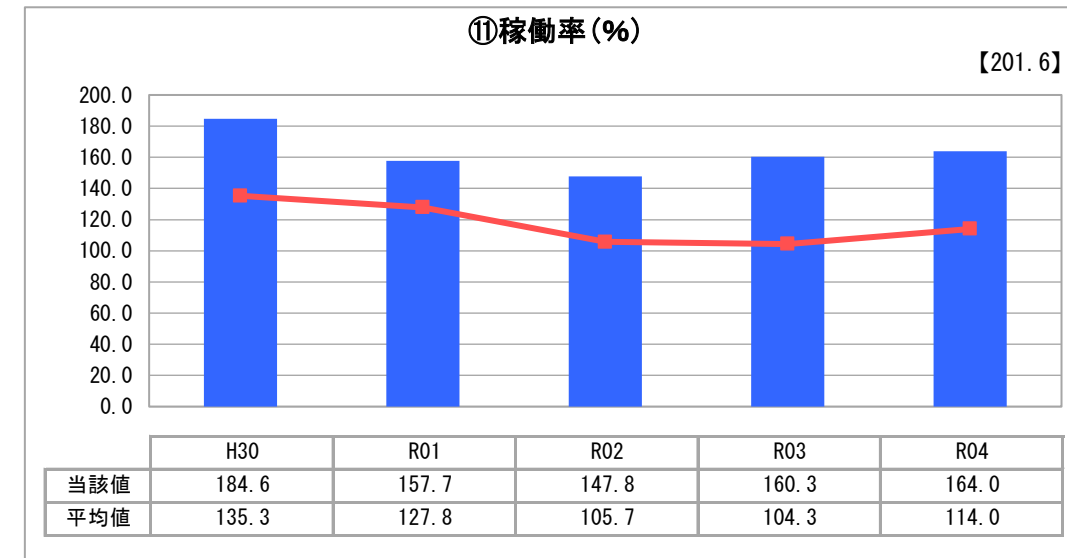
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
商業施設	無	25,638
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
749	300	代行制

グラフ凡例	
■	当該施設値（当該値）
—	類似施設平均値（平均値）
【	令和4年度全国平均

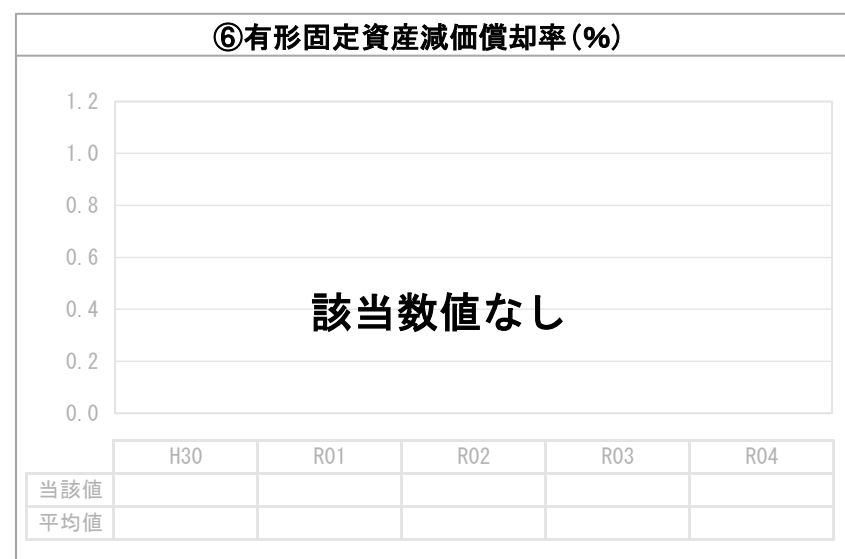
1. 収益等の状況



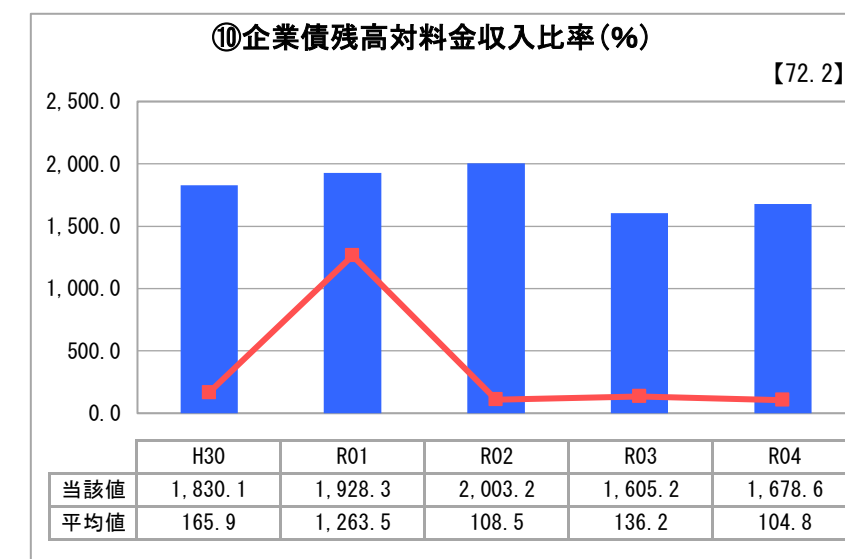
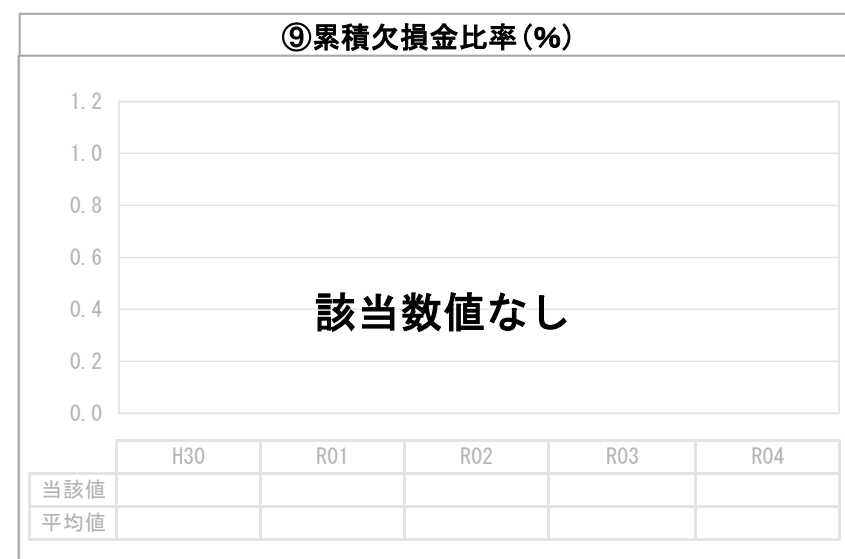
3. 利用の状況



2. 資産等の状況



⑦敷地の地価(千円)	0
⑧設備投資見込額(千円)	0



分析欄

1. 収益等の状況について
 駐車場の料金収入等で支出をどの程度賅えているかを示す収益的収支比率(%)は40%前後で赤字となっています。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の流行により、一般会計からの繰入金により総収入が増加したため収益的収支比率が増加しましたが、令和3年度は減少しました。令和4年度は管理組合負担金の増額により総支出が増加し、前年度より減少しています。
 他会計補助金比率及び駐車台数一台当たりの他会計補助金額は平均よりも高いですが、建設費の償還が完了する令和14年度以降はゼロとなる見込みです。
 売上高GOP比率は概ね平均より高いもののEBITDAは平均よりも低く、経営改善に向けた取組みが必要であることを示しています。

2. 資産等の状況について
 駐車場建設費の償還は令和14年度に完了する予定です。商業施設との複合施設であり、今後は管理組合が実施する大規模修繕等の負担額を見込む必要があります。令和5年11月に策定した駐車場ビジョンでは、同駐車場が単独で所有している設備投資はありませんが、今後発生した場合は見込む必要があります。

3. 利用の状況について
 オープン以後、店内のリニューアルによる一部店舗閉鎖期間や、隣接商業施設の駐車料サービスの変更等により、稼働率は減少傾向にありました。また令和2年度は、新型コロナウイルス感染症流行の影響により、外出を取りやめる、買物等を短時間で済ませる、テレワークに変わるなど、利用状況に変化があったため、さらに減少したものと考えています。
 令和3年度から定期利用の割合を増やし、稼働率が上がっています。
 平均値よりも稼働率は高く、今後も一定の需要が見込まれます。

全体総括
 本駐車場は、平成25年3月から供用を開始した、相模大野駐車場整備地区内に3つある都市計画駐車場のうちの1つです。
 一定数の利用があることから、今後も都市計画駐車場として存続させる必要があると考えています。